

秋の夜長の…
ナイトミュージアム
×
バーバー!

毎年人気のナイトミュージアムを11月3日に開催。真っ暗な展示室を学芸員がガイドする「夜の博物館ツアー」や、地元有志による「バーバー！」で飲食と映画を楽しんでいただきました。




真っ暗な展示室を懐中電灯を手に見学。昼間とは違う雰囲気わくわく。




資料館正面の円形広場を会場にしたフード&映画ブース。

みんなでつくる/
こおんなこと
やってみあーす 展

今回のおまつりで、縄文村で行っているイベントの紹介と作品を展示する「こおんなことやってみあーす展」を初めて開催しました。

貝紫染め

縄文教室ほか

つる編み

村びとさん作品

多くの村びとさんに作品を提供していただきました。ご協力ありがとうございました!

貝輪作り

縄文教室

縄文の漁り









縄文
写真館

4年ぶりに縄文服の試着と写真撮影を復活！縄文服と小物を身につけ、縄文人になりきって写真撮影を楽しみました。

奥松島縄文村まつり 2023.11.5





縄文
カキ剥き
競争

無料縄文体験も盛況!

火おこし
No.1
決定戦!

カキ剥き競争&火おこし競争では賞品のカキをめぐる縄文スキルを競い合いました。なんと両競争で入賞するという「現代の縄文人」も現れ、会場は大いに盛り上がりました。





縄文村の秋を楽しむ一大イベント「奥松島縄文村まつり」を11月5日に開催し、市内を中心に多くの方にご来場いただきました。

どうぞ〜！カモ入りのおかゆですよー!

縄文
キッチン

数年ぶりの縄文料理の試食にお客さんは興味津々！縄文土器で煮込んだ「縄文そば粥」の試食を行い、あっという間になくなりました。



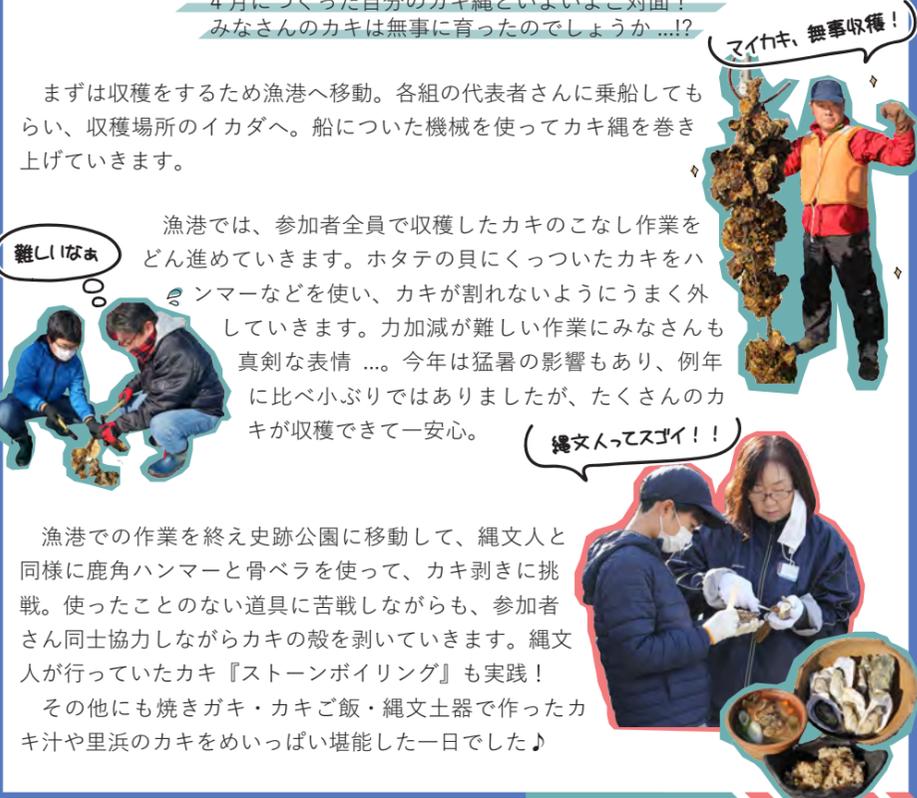

カキ養殖体験
〜第二回収穫〜

天候にも恵まれ、収穫作業にはもってこいの日となった11月26日。4月につくった自分のカキ縄といよいよご対面！みなさんのカキは無事に育ったのでしょうか…!?

まずは収穫をするため漁港へ移動。各組の代表者さんに乗船してもらい、収穫場所のイカダへ。船についた機械を使ってカキ縄を巻き上げていきます。

漁港では、参加者全員で収穫したカキのこなし作業をどん進めていきます。ホタテの貝にくっついたカキをハンマーなどを使い、カキが割れないようにうまく外していきます。力加減が難しい作業にみなさんも真剣な表情…。今年は猛暑の影響もあり、例年に比べ小ぶりではありましたが、たくさんのカキが収穫できて一安心。

漁港での作業を終え史跡公園に移動して、縄文人と同様に鹿角ハンマーと骨ペラを使って、カキ剥きに挑戦。使ったことのない道具に苦戦しながらも、参加者さん同士協力しながらカキの殻を剥いていきます。縄文人が行っていたカキ『ストーンボイルング』も実践！その他にも焼きガキ・カキご飯・縄文土器で作ったカキ汁や里浜のカキをめいっぱい堪能した一日でした!



つる編みに挑戦しよう!

2023/11/18
11/19

縄文遺跡から見つかった、つる製のカゴ。縄文人にならって山でつるを採集、カゴ編みにチャレンジしました。

1日目 史跡公園周辺でつるの採集と根切り・洗浄。前日の大雨とは打って変わって、気持ちの良い天気で当日を迎えることができました。山に分け入り、どこまでも伸びるつるの採集は一苦労…でした。つるの根を切る作業も集中力と根気が必要です。この時期の寒さの中、参加者のみなさん、作業に集中!



2日目 交流館で講座を聞き、縄文人のカゴ編みについて少し詳しくなってから「カゴ編み」の開始!リピータの参加者さんも多いこのイベント。初めての方も、みなさん編み方を習得するのとてもスピーディ!頭の中にある完成イメージを形にすべく、みなさん器用に編んでいきます。編み目を細かく丁寧に編んでいく方もいれば、大物を作る方も、十人十色のつる編みでした。



縄文教室III 縄文料理

2023/9/24

ひと夏を通して、「縄文ライフ」を体験する縄文教室。第3回目は、縄文料理に挑戦しました。

今年は、コロナ前に近い形で、縄文料理のフルコースを参加者全員で作ることになりました。菊地逸夫先生による、石器を使ったマダイの解体ショーに参加者の皆さんの目も釘付けになっていました。縄文鍋と朴葉の包み焼きでは、シカ・カモ・イノシシの3種類の肉を石器で調理に挑戦。皆さん慣れない道具に一苦労…。縄文クッキー作りでは、里浜で採れたクルミを、シカ骨のへらを器用に使い、中身をくり抜き材料にしました。皆さんの協力のもと料理が完成!食べる機会の少ないシカ・カモ・イノシシの評判も上々。縄文鍋やそば粥も魚や肉のうま味が効いていて、縄文土器の鍋の中はあっという間にご堪能いただきました。

縄文料理 MENU

- ・縄文そば粥
- ・朴葉の包み焼き
- ・縄文クッキー
- ・縄文鍋(魚・肉)

第1・2回で完成した土器のコンテストも開催。投票期間中の来館者や参加者による投票でアテナイ(大人)部門・げんちゃん(小学生以下)部門・本格コース部門、それぞれの一位入賞者が決まりました!

